

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	通所支援施設ふたば		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者)	0	(回答数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種で支援を行うことで、多角的な視点での、評価・支援を提供することができる。	各職種が情報共有することで、支援内容の見直しを各専門性の意見を踏まえて行うことができる。	今後もカンファレンス内で、情報共有を行いながら、より良い療育に繋げていく。
2	多機能型であるため、対象児がどちらかの支援を利用している場合、保護者の同意の元、児童発達又は放課後等支援事業と情報共有を行うことができる。	支援の状況も合わせた評価、支援プログラムの作成	情報共有を密に行い、必要な支援を施設として検討していきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望があった場合、迅速な対応が困難。	限られた人員のため、希望があった場合に迅速な対応が困難	保護者の要望と訪問先の職員との事前会議を通して、必要性を判断し、必要な期間、回数を決定していきます。
2			
3			